

令和5年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 112

千葉県立木更津高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び特 記事項	実用英語技能検定準2級以上など、特に優れた記録については、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔15点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。また、cを含む評価の組合せが1つでもある場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	明確なものである。 前向きである。
イ 入学後の意欲	目的意識をもっている。 進路に具体的な目標がある。
ウ 質問に対する応答 服装・態度	趣旨を理解し、簡潔明瞭に応答できる。 適切な言葉遣いがなされている。 服装、頭髪、身だしなみが整えられている。 姿勢や視線、態度に落ち着きが見られる。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔15点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（満たしている）・b（満たしていない）の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～bb）で得点化する。bbの組合せがあるものは、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点 評定	面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
135点	15点	15点	165点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。